

三遠南信地域における 官民連携主体による地域づくりの推進

官民連携組織の強化方向

1 SENA事務局体制

- 地域経営の重要性が求められている中、地方公共団体と経済団体による官民連携組織の役割は、重要かつ多様になると予想される。
- 今後は、地方自治体、商工会・商工会議所の他に、地域の大学、金融機関、シンクタンク等の様々な機関による運営を検討していくことが重要。

2 大学連携基盤の整備

- 大学は、持続可能な地域経営資源を供給し続けることができる次世代社会創造基盤の中核となる装置である。
- 三遠南信地域の大学は、単なる地域貢献としての目的・意義ではなく、「持続可能な地域創造のための大学」という大きな役割を担う共通の機関として位置づけていくことが重要。

3 国や産学官金連携等による資金確保

- 次世代社会創造基盤づくりでは、それを推進するための資金確保が必要である。
- プロジェクトベースによる国等の活動資金の獲得、地域金融機関との連携（産学官金連携）による資金確保等を考えていくことが重要。

平成20年、三遠南信地域の地域住民・大学・経済界・行政など圏域の発展を願う様々な関係者が力を合わせ、県境を越えた「三遠南信地域連携ビジョン」を策定し、同年11月から官民連携主体である「三遠南信地域連携ビジョン推進会議」（以下、SENA）を設置しました。また、翌年の4月には豊橋市、飯田市から職員を受け入れ、SENA事務局機能を浜松市企画課内に整備しました。

SENAは、これまで三遠南信地域連携ビジョン推進のための戦略、調査研究事業等の検討や合意形成を進めてきており、平成24年度から、連携事業の推進を一層進めるための機能強化についての検討を行う予定です。

三遠南信地域連携ビジョンでは、県境を越えた社会基盤を活かした地域づくりを大きな目的として掲げており、基本方針である「持続発展的な産業集積の形成」では県境を越える大学・研究機関連携組織の形成が重要であると考えています。こうした連携環境を整備しながら、次世代に繋がる社会基盤創造を促していくことが必要であると考えています。

官民連携組織の強化・地域戦略に対応した課題

1 PDCAに対応した事業の推進

SENAは、三遠南信地域連携ビジョンを推進する中核的な組織であり、着実なビジョン推進には、企画・調整力、実行力、実施事業の評価・改善のPDCAへの対応が必要不可欠である。このため、地域戦略やビジョン推進のために、SENAが求められる役割は以下が挙げられる。

- 1 地域戦略及びビジョンに対する具体的なアクションプランづくり
- 2 アクションプランの推進
- 3 アクションプランの評価
- 4 アクションプランの改善

2 PDCAに対応した官民連携の強化

PDCAサイクルによる広域的な事業活動では、SENA事務局の果たす役割は非常に重要で多様になるため、SENA事務局の機能強化を図ることはもちろんのこと、SENA幹事会メンバー等の関係機関の役割を明らかにし、全面的にバックアップしていく仕組みを考えていくことが必要である。

- 1 SENA事務局人員の強化
- 2 官民連携体を構成する個々の機関の役割の明確化
- 3 事業実施のための資金確保

官民連携主体(SENA)の活動実績

(平成18年)	三遠南信地域連携ビジョン検討委員会が発足
(平成19年)	第15回三遠南信サミットで三遠南信地域連携ビジョンが合意
(平成20年)	3月 三遠南信地域連携ビジョンの策定 11月 三遠南信地域連携ビジョン推進会議（SENA）の発足
(平成21年)	4月 浜松市、豊橋市、飯田市の出向者からなる事務局体制整備 6月 広域地方計画先導事業「県境を越えた広域的な地産地消圏の形成プロジェクト」（国土交通省）に採択 7月 SENA委員会の開催 11月 第17回三遠南信サミット2009 in 東三河の開催
(平成22年)	3月 内閣府「社会雇用創造事業」三遠南信地域社会雇用創造事業に採択（2カ年事業） 3月20～21日 三遠南信「塩の道」物産展 -ええじゃないか市-の開催（ジャスコ豊橋南店） 7月 三遠南信地域社会雇用創造事業第1期インターンシップ事業実施 ※以降、第2期 平成22年10月～、第3期 平成23年1月～、第4期 平成23年4月～、第5期 平成23年8月～、第6期 平成23年11月～
(平成23年)	8月 三遠南信地域社会雇用創造事業第1期・2期社会起業プラン・コンペティション事業計画書募集 ※以降、第3期・第4期 平成23年2月～ 8月 SENA委員会の開催 11月 第18回三遠南信サミット2010 in 南信州の開催 6月 SENA委員会の開催 7月 国土交通省「官民連携主体による地域づくり推進事業」に採択 8月6～7日 三遠南信地域イチャオシ逸品展（アイパーク：飯田市） 10月 第19回三遠南信サミット2011 in 遠州の開催 10月 三遠南信地域大学シンポジウムの開催

三遠南信地域における持続可能な地域創造を進めていくための「次世代社会基盤創造分野」

1 地域に内包する社会的な問題・課題をビジネス的に解決するような社会的企業分野

- 例)
- 自然資源分野：森林ビジネス、地域資源活用ビジネス等（地球環境、森林保全、エネルギー利用、林業振興等に着眼）
 - 地域づくり分野：まちづくりビジネス、中山間地ビジネス等（多文化共生等を含む）
 - 安心安全分野：食・農ビジネス、福祉介護・医療ビジネス等（郷土の食文化等に着眼）

2 持続可能な社会基盤としての水、エネルギー、食料に関わる分野

- 例)
- 環境保全に配慮した持続的な水資源の安定的な確保に関する分野
 - 生活、産業（農業を含める）に関わるエネルギーの循環の分野
 - 日本の食料基地として維持発展していくための農業の6次産業化振興分野等

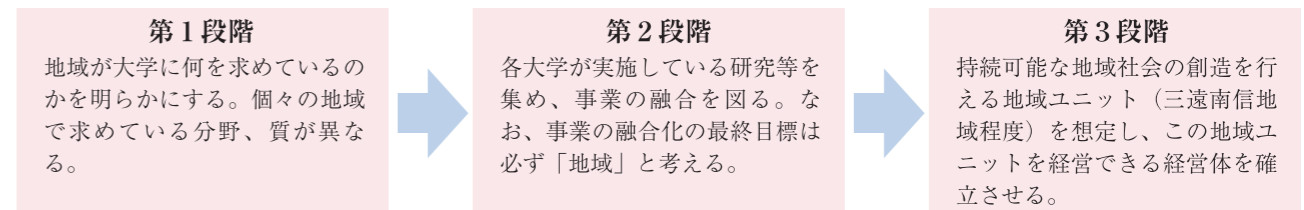
3 地域課題の解決に繋がる産業の業際分野

- 例)
- 地域課題（人口減少社会、高齢化社会における都市、農村、山間地の課題等）を解決するような理工系、文科系等の業際分野

次世代社会基盤創造分野を活かした地域戦略

- 1 歴史的な繋がりを重視した国内外地域との連携推進
- 2 地域と企業がスクラムを組んだ官民連携体制の強化
- 3 地域システムによる人材育成（プレイヤー）
- 4 地域課題の解決を目指したビジネス支援
- 5 人口減少下における地域経営の推進

大学の知的資産の活用

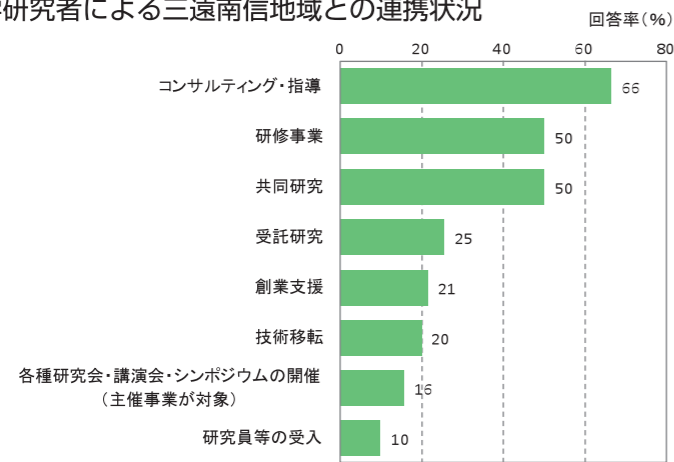


三遠南信地域の大学の実態と地域の期待・課題

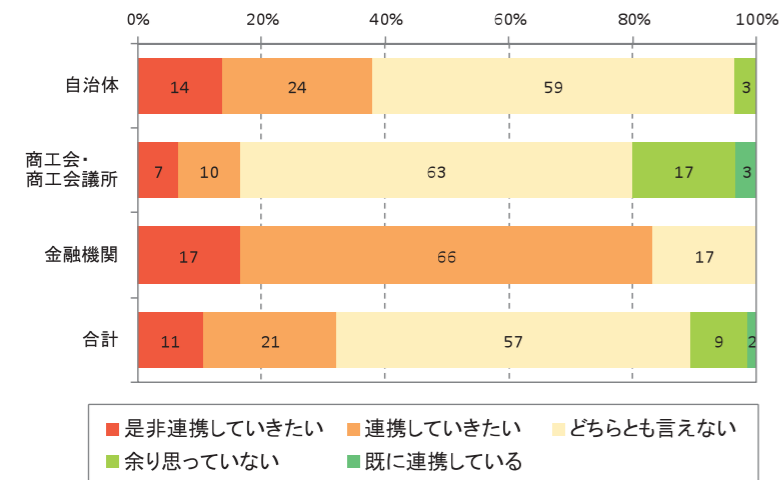
■ 地域との連携窓口 ※東京女子医科大学、長野県看護大学を除く。

【東三河地域】	
愛知大学・短期大学部	: 企画・広報課大学広報係 (豊橋市)
豊橋技術科学大学	: 産学連携推進本部 (豊橋市)
豊橋創造大学・短期大学部	: 地域貢献センター (豊橋市)
愛知工科大学	: 地域産学連携センター (蒲郡市)
【遠州地域】	
静岡産業大学	: エクステンションセンター (磐田市)
静岡大学	: イノベーション共同研究センター (浜松市)
静岡文化芸術大学	: 企画室 (浜松市)
静岡理工科大学	: 総合技術研究所 (袋井市)
聖隷クリストファー大学	: 保健福祉実践開発研究センター (浜松市)
浜松学院大学・短期大学部	: 地域共創センター (浜松市)
浜松大学	: 総合研究所 (浜松市)
光産業創成大学院大学	: リエゾンセンター (浜松市)

■ 大学研究者による三遠南信地域との連携状況



■ 地方自治体/商工会・商工会議所/地域金融機関の大学との連携ニーズ

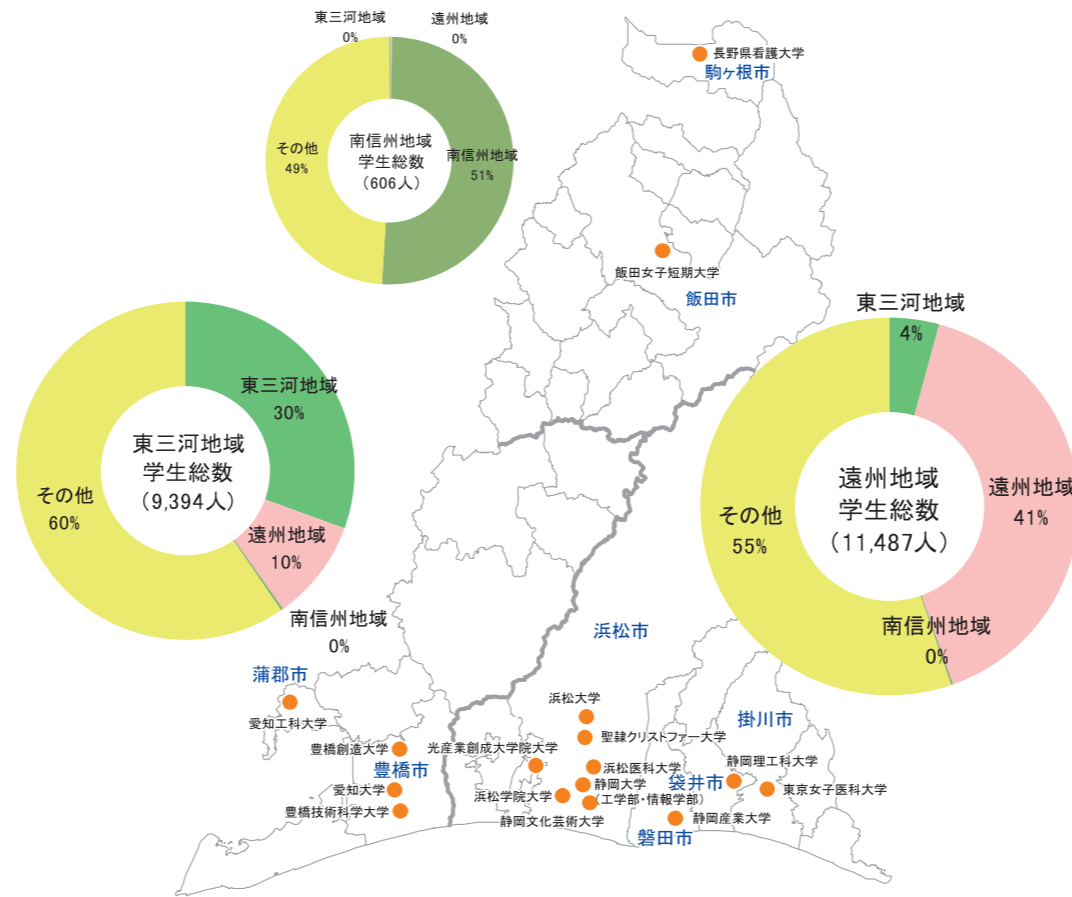


■ 調査対象

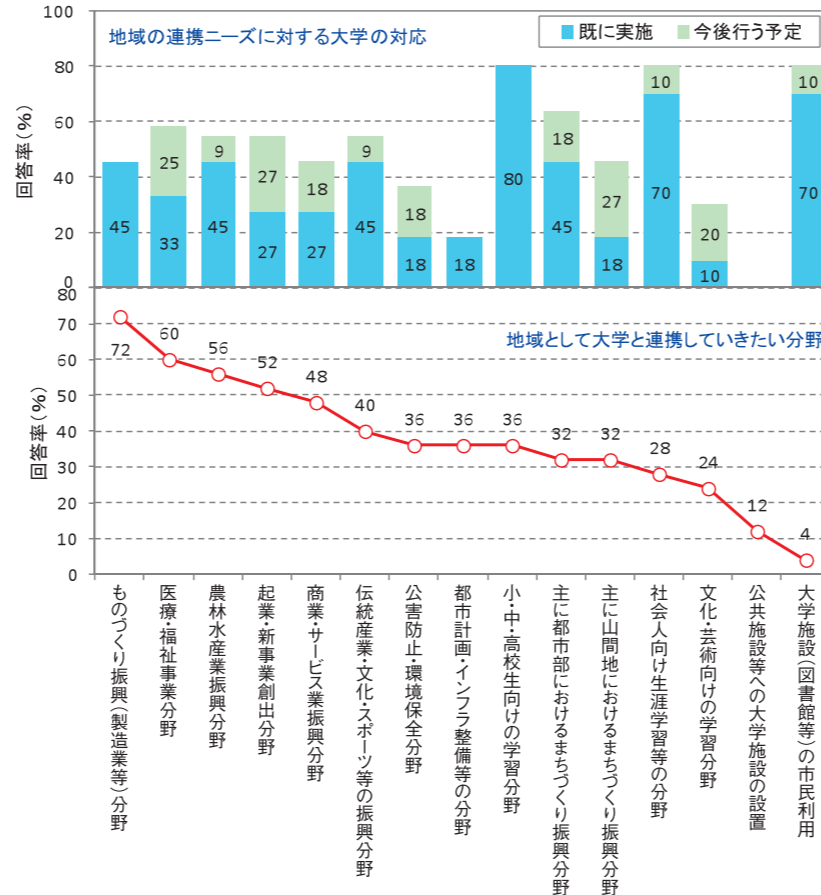
アンケート対象	対象数	回収数	回収率 (%)
地方自治体	32	31	96.9
商工会・商工会議所	48	33	68.8
信用金庫	8	8	100.0
大学	15	14	93.3
大学研究者		167	-
大学生 (在学)		475	-
大学生 (就職決まった人)		353	-

注記：調査実施時期は平成23年12月～平成24年2月上旬

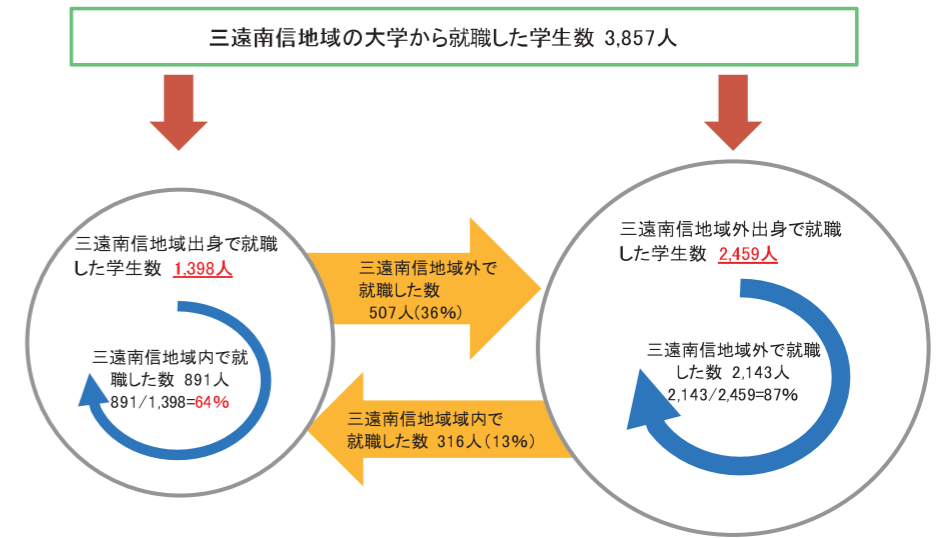
■ 三遠南信地域の16大学と出身地別の学生数 ※東京女子医科大学、長野県看護大学を除く。



■ 地域(自治体、商工会・商工会議所、地域金融機関)の大学に対する連携ニーズと大学の対応



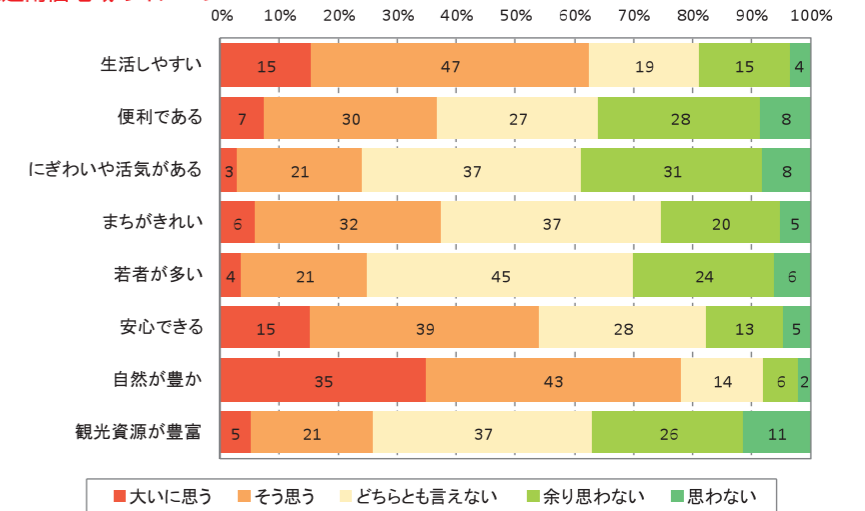
■ 就職した学生の出身地別の就職地 ※東京女子医科大学、長野県看護大学を除く。



■ 三遠南信地域に対する学生の認識 (就職が決まった学生・在学)

※東京女子医科大学、長野県看護大学を除く。

三遠南信地域のイメージ



三遠南信地域の就業地・勤務地としての魅力

